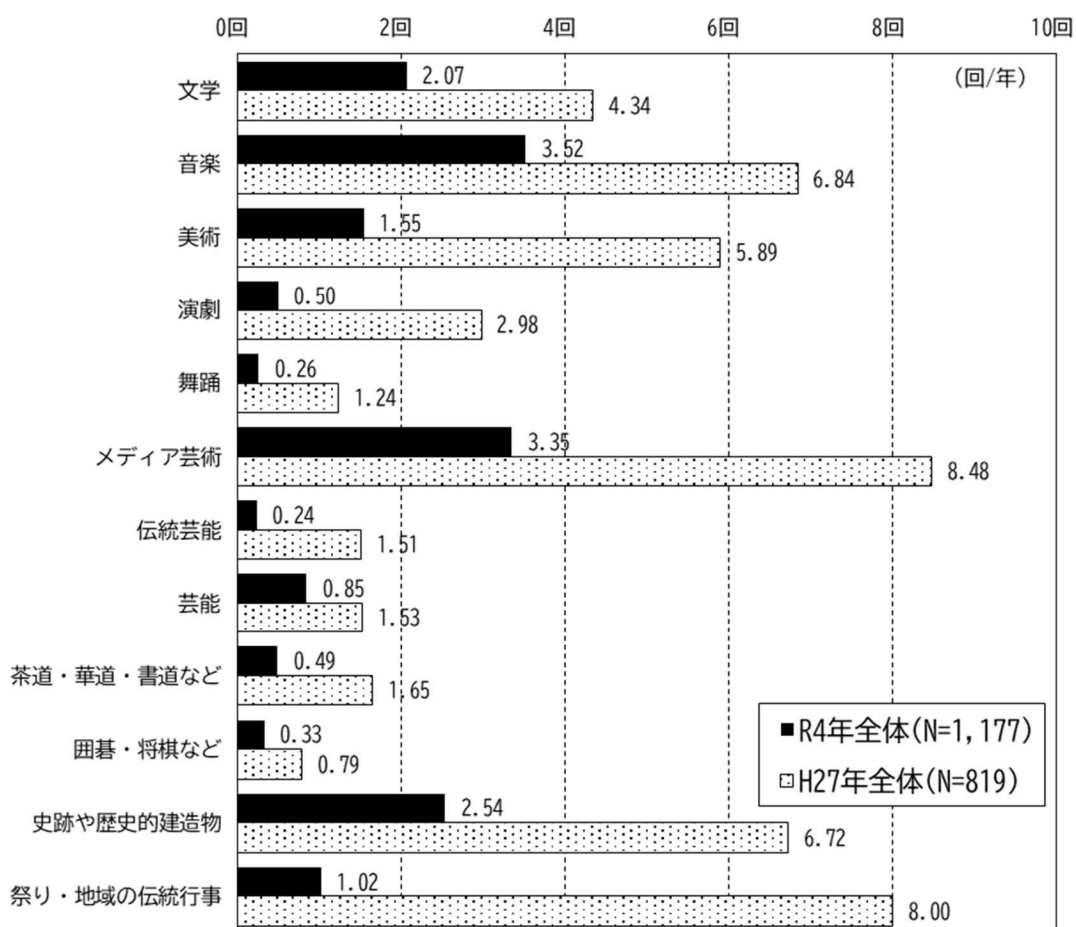


Q 外出による文化芸術イベントの分野別直接鑑賞頻度について。
 (複数回答可) ※最近1年間

最近1年間の文化芸術の直接鑑賞の頻度についてみると、平均頻度は「音楽」が3.52回/年で最も多く、次いで「メディア芸術」(3.35回/年)、「史跡や歴史的建造物」(2.54回/年)、「文学」(2.07回/年)などの順となっている。なお、最も鑑賞頻度が低いのは「伝統芸能」(0.24回/年)となっている。

前回結果と比較すると、全ての分野で平均頻度が低くなっており、新型コロナウイルスの感染拡大による影響と考えられる。特に、「祭り・地域の伝統行事」(前回比：-6.98回/年)や「メディア芸術」(前回比：-5.13回/年)は前回から大きく直接鑑賞の頻度が低くなっている。

文化芸術の分野別直接鑑賞頻度

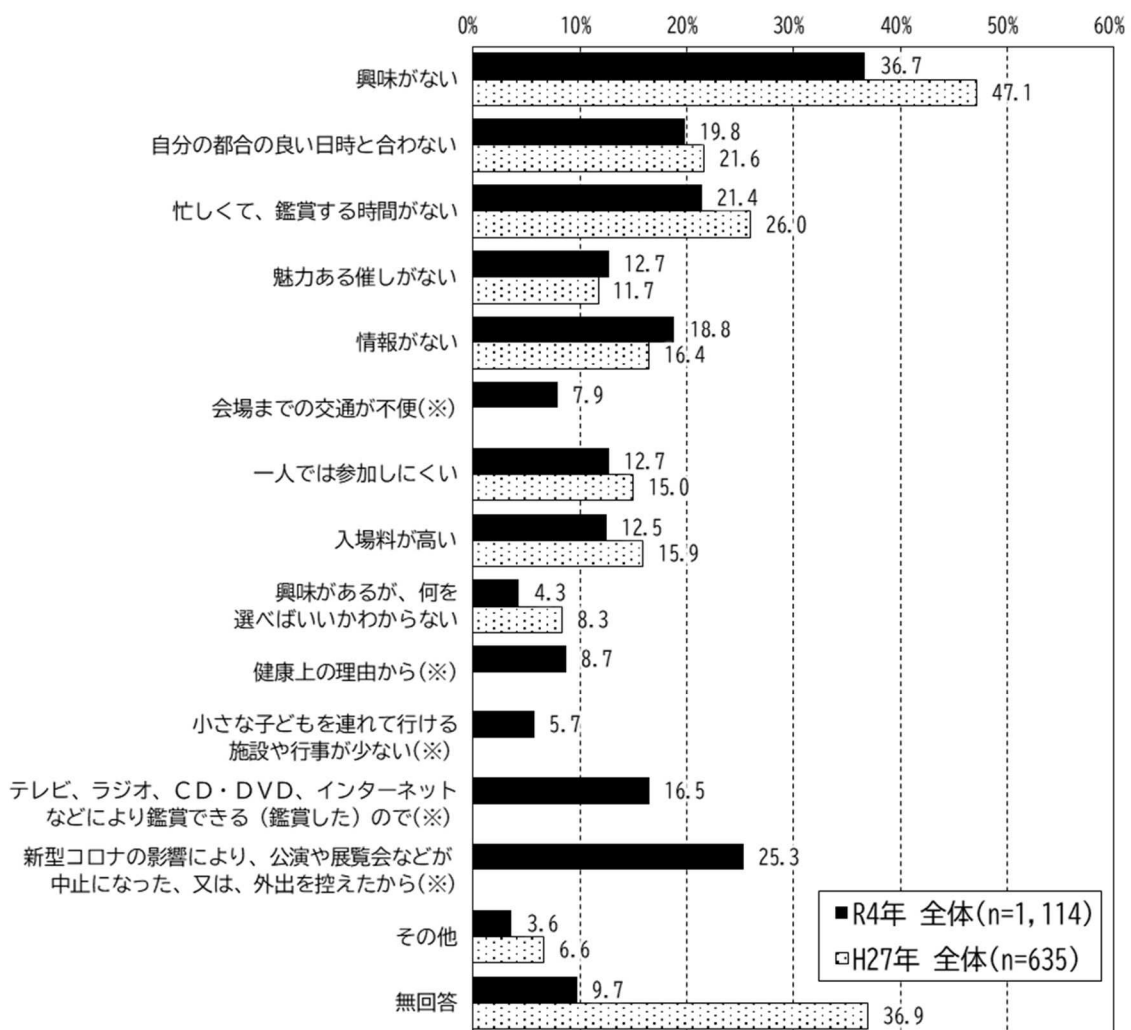


Q 外出により文化芸術イベントを直接鑑賞していない理由について。(複数回答可) ※最近1年間

鑑賞しない理由としては、「興味がない」が36.7%と最も高く、次いで「新型コロナの影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は、外出を控えたから」(25.3%)、「忙しくて、鑑賞する時間がない」(21.4%)、「自分の都合の良い日時と合わない」(19.8%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「興味がない」や「忙しくて、鑑賞する時間がない」という回答は減っているものの、新型コロナウイルスの影響が鑑賞しない理由の大きな1つとなっている。

文化芸術を直接鑑賞しない理由



※R4 調査項目追加

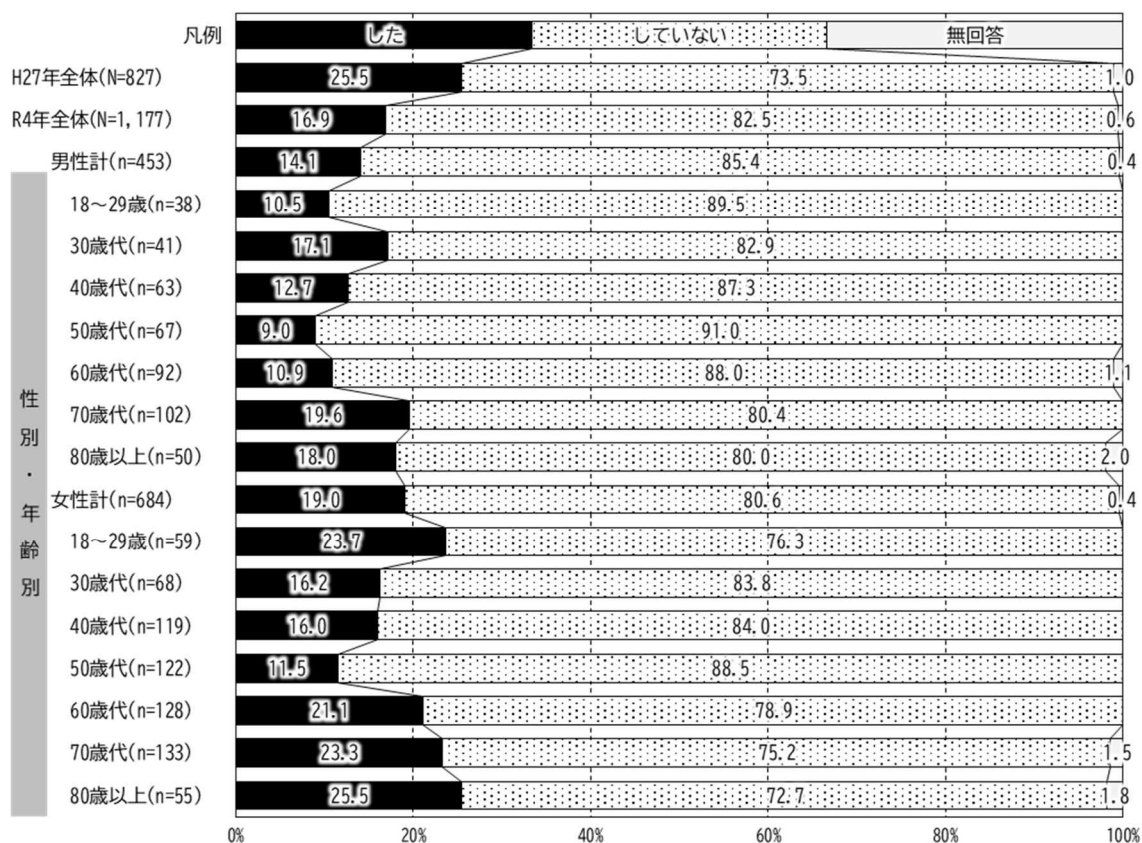
Q 文化や芸術に関する活動の有無について（鑑賞除く）。

※最近1年間

最近1年間の文化や芸術に関する活動の有無についてみると、「していない」が82.5%と大半を占めており、過去の調査結果と比較すると、「していない」（前回：73.5%）の割合は前回から更に高くなっている。

性別・年齢別にみると、男女ともに70歳代以上の高齢者層は文化や芸術に関する活動を行っている人が多い傾向がみられる。一方で、男女ともに50歳代の「していない」割合が他の年代に比べて高くなっている。18～29歳の若年層では男女差（男性18～29歳：89.5%、女性18～29歳：76.3%）が最も大きい。

文化や芸術に関する活動の有無



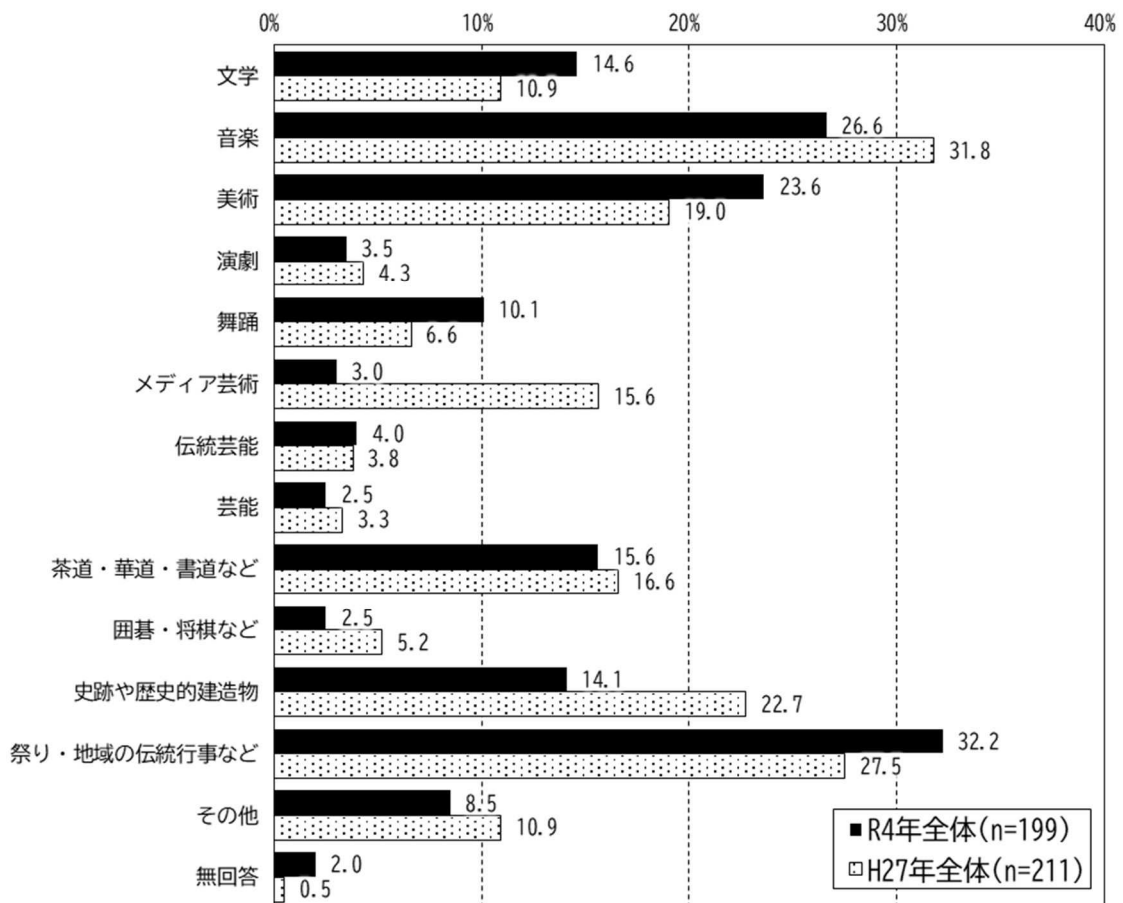
Q 文化や芸術に関する活動をした分野について。(複数回答可)

※最近1年間

文化・芸術に関する活動を最近1年間に「した」と回答した人の活動分野は、「祭り・地域の伝統行事など」(32.2%)の割合が最も高く、次いで「音楽」(26.6%)、「美術」(23.6%)、「茶道・華道・書道など」(15.6%)、「文学」(14.6%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「メディア芸術」(前回比: -12.6ポイント)や「史跡や歴史的建造物」(前回比: -8.6ポイント)は活動が減っている分野である一方、「祭り・地域の伝統行事など」や「美術」(前回比: それぞれ+4.7ポイント、+4.6ポイント)は活動が増えている。

文化や芸術に関する活動の分野



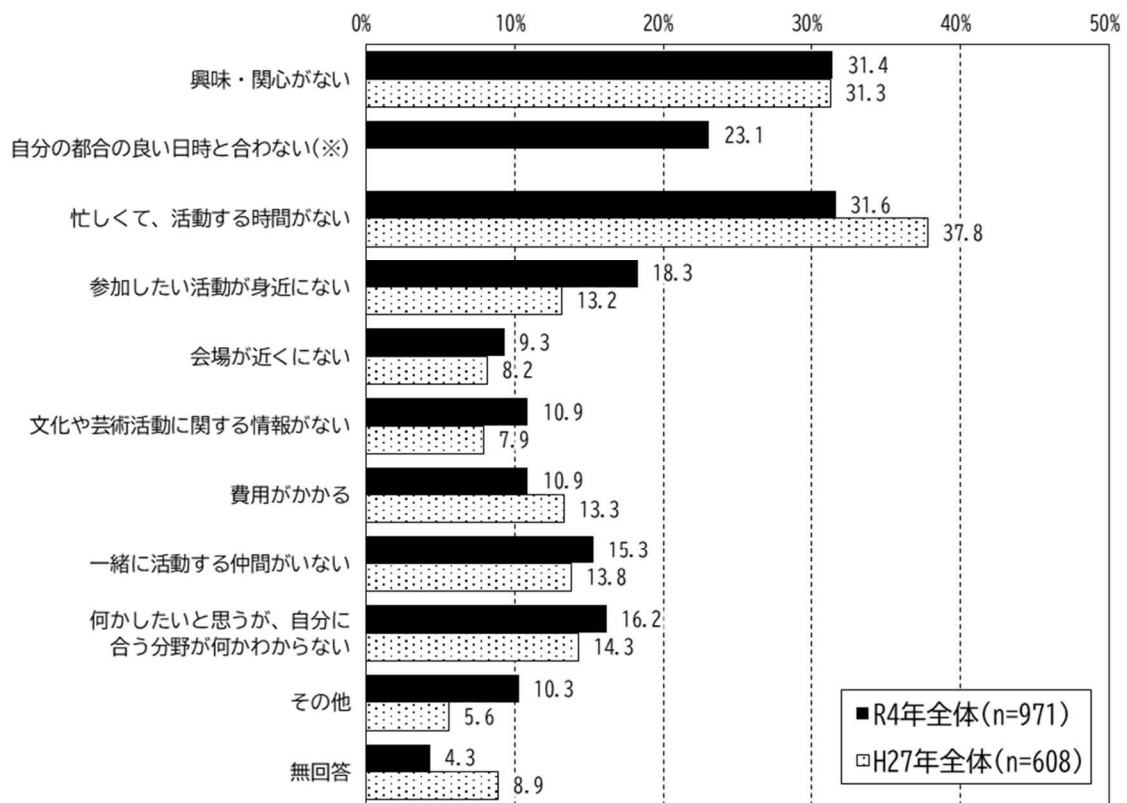
Q 文化や芸術に関する活動をしていない理由について。
(複数回答可)

※最近1年間

文化や芸術に関する活動を「していない」と答えた人に、その理由を尋ねたところ、「忙しくて、活動する時間がない」(31.6%)と「興味・関心がない」(31.4%)がそれぞれ3割を超えている。他には「自分の都合の良い日時と合わない」(23.1%)、「参加したい活動が身近にない」(18.3%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「忙しくて、活動する時間がない」(前回比：-6.2ポイント)が減る一方で、「参加したい活動が身近にない」(前回比：+5.1ポイント)が増えている。

文化や芸術に関する活動をしていない理由



※R4 調査項目追加

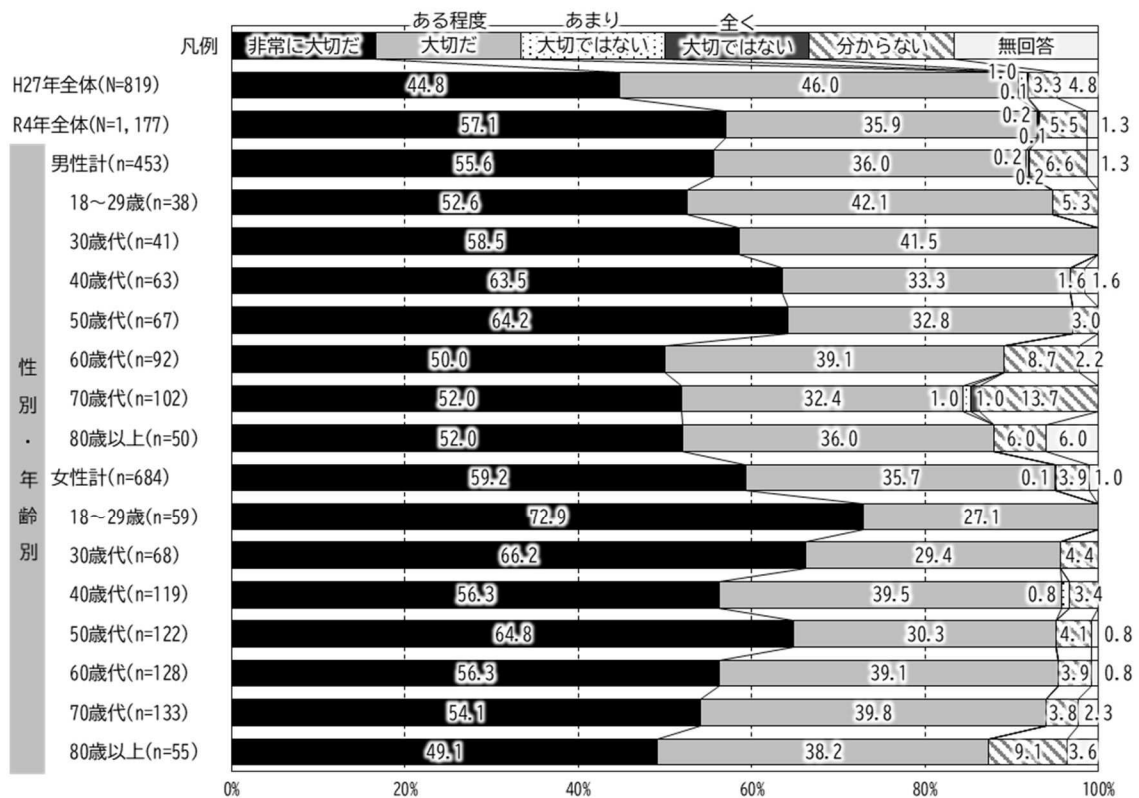
Q 子どもの文化芸術体験や文化芸術活動の重要性について。

子どもの「文化芸術体験」や「文化芸術活動」の重要性についてみると、『大切だ』（「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の総和）が93.0%となっている。

前回結果と比較すると、『大切だ』は2.2ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、男女全ての年代で『大切だ』の回答が8割以上となっている。

子どもの文化芸術体験や文化芸術活動の重要性



Q 子どもの文化芸術体験や文化芸術活動で大切な分野について。
(複数回答可)

分野ごとの重要性についてみると、「美術」(61.7%)、「音楽」(61.5%)、「祭り・地域の伝統行事など」(61.3%)、「史跡や歴史的建造物」(53.4%)の4分野は全体の5割以上の回答が得られている。

子どもの文化芸術体験や文化芸術活動に関する分野別の重要性

